

光太郎からの手紙

令和5年度花巻市共同企画展

令和6年

1月20日(土)~

2月18日(日)

高村光太郎記念館

啓上 いろいろありがたうございまして。
 午後二時頃分教場に到着、今晩は分教場に宿泊、明日よりだんだんに小屋の整備にかかります。
 好天気を幸福に存じます。尚小生出がけに下駄を荷に入れるのを忘れました。
 そのうちとりまゐります。又二階の卓上に返却すべき『農産製造論』を置き忘れてきました。
 これは憚りながら信一郎さんの幸便の時同君にお手渡し下さい。
 いづれゆつくり書きますがとりあへず右まで 皆さまによろしく貴家晩餐の光景を偲びつつ
 十月十七日 山口にて

(昭和二十年十月十七日佐藤隆房宛書簡「高村光太郎山居七年」より)



写真・光太郎愛用の矢立(携帯小筆入れ)

彫刻家で詩人として知られる高村光太郎。戦火の東京から花巻へ疎開し、その後太田村山口へ移住した光太郎の消息を外部へ知らせる手段は手紙が中心でした。

光太郎からの手紙は事務連絡的なものから、日々の生活や心境を語るものまで多岐にわたります。特に太田村での暮らしの様子は小屋の建設から日々の食生活など、日記のように詳細に記されていました。

この企画展では、疎開直前から帰京後に没する直前までに光太郎から差し出された手紙と関連するエピソードの紹介を通じて、晩年の光太郎の足跡をたどります。

高村光太郎記念館

〒025-0037 岩手県花巻市太田3-85-1 ☎0198-28-3012
 開館 午前8時30分 閉館 午後4時30分 休館日 12月28日～1月3日

高村光太郎記念館 入館料

一般 350円 / 高校生・学生 250円 / 小・中学生 150円

※団体入場(20名以上)は上記から一人あたり50円割引

※記念館入館の際、受付でこのチラシをご提示
 いただいた方に先着順で記念品を進呈します。

